

# 2025年度事業計画

## 1. 学術的会合

(1) 年会, 秋季総合分科会 (総合講演, 企画特別講演, 特別講演, 一般講演)

「2025年度年会」 3月18日(火)～3月21日(金) 早稲田大学

「2025年度秋季総合分科会」 9月16日(火)～9月19日(金) 名古屋大学

(2) 各支部, 各分科会主催による研究集会

(3) 第25回, 第26回「高木レクチャー」

(4) 第18回「日本数学会季期研究所」(MSJ-SI 2025)

## 2. 定期刊行物

(1) 欧文誌 「Journal of the Mathematical Society of Japan」

冊子体: B5判, 年4回刊行, 各回約330頁, 各回900部

電子体: <https://projecteuclid.org/journals/journal-of-the-mathematical-society-of-japan>

「Japanese Journal of Mathematics, third series」

冊子体: B5判, 年2回刊行, 各回約200頁, 各回350部

電子体: <https://www.springer.com/journal/11537>

(2) 邦文誌 「数学」

冊子体: B5判, 年4回刊行, 各回約112頁, 各回5,500部

電子体: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sugaku/-char/ja/>

「数学通信」

冊子体: B5判, 年4回刊行, 各回約100頁, 各回5,000部

電子体: 一部を日本数学会ホームページで公開

## 3. 不定期刊行物

「Advanced Studies in Pure Mathematics」

「MSJ Memoirs」「数学メモアール」

## 4. 顕彰

優れた数学研究, 数学関連支援事業および出版活動を顕彰・奨励

日本数学会賞春季賞, 同秋季賞, 同建部賢弘特別賞<sup>\*1</sup> および奨励賞, 日本数学会出版賞,  
日本数学会関孝和賞, JMSJ論文賞, 日本数学会代数学賞, 同幾何学賞, 同解析学賞,  
同応用数学賞, 同応用数学研究奨励賞

## 5. 研究奨励

(1) 「加藤敏夫フェロー<sup>\*2</sup>」

次世代を担う東南アジア在住の若手数学研究者を国内研究機関に受け入れ, 支援する。

(2) 「在外研究奨励フェロー<sup>\*1</sup>」

困難な状況のもと, 国外の研究機関で研究, または国外の研究者と共同研究を行う若手研究者を支援する。

## 6. 国際交流

### (1) 大韓数学会および台湾数学会との交流事業

2025 年度秋季総合分科会に大韓数学会代表団を招待し, 台湾数学会年会に本会代表団を派遣する.

### (2) アジア数学会議 (Asian Mathematical Conference) への代表団派遣

東南アジア数学会およびタイ数学会が主催するアジア数学会議に本会代表団を派遣する.

### (3) アフリカ数理科学研究所 (AIMS) との交流事業

AIMS の拠点に本会会員を講師として派遣し, 約 3 週間の講義を実施する.

### (4) 外国機関に対する支援等

IMU CDC ( IMU's Commission for Developing Countries ), 日米数学研究所 (JAMI), Oberwolfach 研究所への援助金を拠出し, The International Council for Industrial and Applied Mathematics (ICIAM) の会員として会費を拠出する. (国際交流基金から拠出)

## 7. 社会連携

### (1) 「市民講演会」

2025 年度年会および 2025 年度秋季総合分科会において開催する.

### (2) 「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2025 <sup>\*3</sup>」

博士課程の学生を中心としたキャリアパス支援構築を目的として実施する.

### (3) 男女共同参画に関する活動

男女共同参画学協会連絡会の活動, および「女子中高生夏の学校」への協力等を行う.

## 8. その他

### (1) MathSciNet のコンソーシアム JPNMATH

American Mathematical Society (AMS) が提供する「MathSciNet」を特別価格で利用できるようコンソーシアム「JPNMATH」を主宰する.

\*1 一般財団法人数理科学振興会との共同事業

\*2 東南アジア数学会の協力による事業

\*3 本会, 日本応用数理学会および統計関連学会連合との共同開催